



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第288号

2019年11月14日発行

編集・発行：情報委員会

2019～20年度 テーマ

素敵に輝いて 素敵なクラブライフを！

第 288 回 例会

日 時：令和元年 10 月 10 日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：51 名 出席率 83.6 %

(会員総数 61 名 休会 2 名 欠席 8 名)

1. 開 会

齊藤例会委員長

第 288 回例会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会 長 挨 拶

飯 田 会 長

皆さん今日は。朝夕急に寒くなりましたが風邪など引かずにお会いできました事を大変うれしく思います。山崎さんの久々のご参加ありがとうございます。

今日は真っ先にうれしいニュースがありますよね。昨夜発表がありました旭化成名誉フェロー吉野彰氏が

ノーベル化学賞を受賞されたことです。吉野彰様は「高性能のリチウム電池」を開発されました。携帯電話やノートパソコンのバッテリー等、IT 社会に不可欠な電源となると共に、自動車や住宅にも広がりエネルギーの効率利用による環境負荷の低減が期待されています。素晴らしいことと心よりお祝い申し上げます。

今、日本中が盛り上がっているラグビー・ワールドカップですが、私も俄かラグビーファンとなり、ほとんどすべての試合をライブか録画でテレビ観戦しています。日本も残り 1 試合の勝利で決勝リーグへ。楽しみです。

ここで日本のラグビー選手が着ているジャージ

のコンセプトをご存知でしょうか。兜の前立てをモチーフにして、日本の武士道の精神を表現しているのだそうです。

ジャージの白の部分には日本の七つの伝統の文様が入っていて、ゴールドラインは富士山のご来光を表しているとのこと。さらに、ポジションによってジャージの生地や強度や織り方も異なり日本の伝統と技術の粋を集めて作ったとのこと。

そんな目で見ると又一味違う観戦ができるのかもしれません。

ラグビー・ワールドカップ(W杯)日本開催が日本中を熱くし、その経済効果も期待されています。まさに「W杯元気をありがとう」ですね。

それではこれから例会の進行をよろしく願います。

3. ハッピーコイン披露

田中副会長からハッピーコイン 19 件が披露された。(4～5 ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

飯田会長より、恒例の池田会員手作りのバースデーカードが 10 月生まれの会員に贈られました。



写真左から山口、山野、岡本、大野、古川、(会長)、立川、土井の各会員。(敬称略)

5. 卓 話

「唯識から学ぶ人間の心」

土井 俊玄

「唯識」とは、唯識思想を説く大乘仏教の二大思想潮流の一つです。もう一つの思想は龍樹が『中論』の中で説いた「空観」（くうかん）です。今なぜ唯識かと考えた時、現代の世界と日本の姿を憂ふからです。今、日本の社会に暮らす人々を見ていると、相手の立場に立って物事を考える能力が低下しているように思えます。信じがたい殺人事件、傷害事件が当たり前のように起こり、後を絶ちません。これは、言葉の響きがあるだけの「自分」というものへの強い執着が「他者」への思いやりを閉ざしてしまっているからです。

そして、これは日本だけではなく、世界を見ると、頻発しているテロ事件や緊張の糸を緩められない外交問題などすべては、「自分」「自国」「自民族」という幻想への執着が対立を生み、人間の殺し合いである「戦争」や「テロ」を生みだしているのです。これも「他者」への思いやりの欠如でしょう。

「他者」とは人間だけではありません。自然の中に生きる人間にとって「自然」も他者です。この他者としての自然への思いやりが欠如しているのも現代人の大きな病ではないでしょうか。その結果、自然環境破壊が進み、世界の各地で異常気象が頻発し、洪水や日照りによって死を招き、苦しむ人々が増加しています。このままでは人と人の争いは激化し、自然は破壊され、大げさに言えば世界が、地球が滅んでしまいかねません。

そこで唯識の登場ですが、現代人の価値観に見られる二元対立的なものの見方が、争いや環境破壊を生み出すと唯識は言い、その是正を訴えるものなのです。先に述べた自分と他人、自国と他国、善と悪、便利と不便、損と得、美と醜、浄と不浄などの二元的思考が対立や争い、苦悩を生み出すものとなるので、その根元である人間の心の迫及をして、争いや苦悩を和らげていこうとするものとして唯識を見直そうというのです。

唯識は今から約 1300 年前に伝えられ、奈良仏教



の中で学ばれましたが、この唯識は仏教から派生したものの、科学と哲学と宗教の三つの要素を兼ね備えた普遍的な思想であると言われています。現代でも立派に通用する「古くて新しい思想」が唯識です。

その中身については 10 月 10 日の例会にお配りした卓話のレジュメをご覧くださいければ幸いです。

6. 幹 事 報 告

一瀬幹事

3 点あります。

① 当方のホストクラブ受託を受けて全日本プロバス協議会理事会で正式に八王子プロバスの 2022 年総会開催が

決定されました。これに伴い当クラブから全日本プロバス協議会副会長（常任理事）選任の要請がありましたが、適当な時期に会長委任人事として理事会で承認の形で選任することにいたします。

② 例年のように「いちょう祭り」の受付、案内の担当を当クラブに要請されています。各委員会から両日で 12 名の方をお願いすることになっております。該当者はよろしくお願いいたします。

③ 副幹事の有泉さんが体調を崩されていることは先月ご報告いたしました通りですが、ご本人とも相談し、会長のご意向もあり、回復を期待してその間幹事が兼務いたしますことにいたしました。お金を扱う業務ですからご迷惑かけないよう精一杯務めますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

“だみ声と話そう”

今回は 2 名の方をお願いしました。

岩島会員は夏の暑い中、大津・比叡山・奈良・高野山など日本の歴史を刻んだ拠点を巡る一人旅をされました。

「日本人としての原点を確かめたい」「天皇制



の意味するものを辿ってみたい」というのが思い立った背景にあるとのこと。それを実践された行動力に感心すると共に、お話しの中味の濃さ、力強さに圧倒されました。

もうお一人は立川会員です。昨日が 88 歳の米寿



の誕生日とのこと、長い人生を振り返ってもらいました。やはり心に残るのは 4

つの戦争。中でも第二次世界大戦の終戦直後、神戸での幼少時、米兵に対するお婆さまの果敢な行為(おそらく立川さんの人格形成に大きな影響を与えたものと推察します)と、ベトナム戦争(クレージーな戦争でしたが)での米兵のクレージーさのエピソードを語ってもらいました。

若い人に語り継ぐべきテーマだと思います。時間の関係で語り尽くせないこと、お聞きしたいことがいっぱい残ったセッションでした。

7. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

齊藤委員長

例会の出席状況は出席 51 名、出席率 83.6%です。今月の例会は会場の都合で 4 階になりました。少し手狭ですが特に支障もなく開催出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。



(2) 情報委員会

河合委員長

① プロバス日より第 287 号をお届けしました。10 月号は永井委員の編集により、8 ページ建てとなりました。沢山の寄稿等ありがとうございました。

② 9 月のホームページへのアクセス回数は 283 件でした。平均を 10%ほど上回っています。提供される情報の充実と共に、良い方向に向かっています。

③ 現在、ホームページで行事や活動を伝える枠は

2 つでしたが、ここで 4 本に増やすことにしました。費用的には年間 3,000 円ほどアップしますが、理事会の同意を得ましたのでより充実を図ります。

④ プロバスクラブや会員の活動について、タウンニュース紙の 9 月 19 日号にプロバスクラブの例会の取材記事が、さらに 10 月 2 日号には、岡部会員が八王子スポーツ協会の事務局長として、八王子市の「市町村体育大会 13 連覇達成」に尽力された功績の紹介などの記事が掲載されました。この 2 本の記事をホームページにアップしました。

是非、アクセスの上、ご覧ください。

(3) 会員委員会

寺田委員長

① 今年度から PC 会員から徴収する会費、例会参加費、野外研修費、懇親会費、学習サロン費等の集金を会員委員会で担当しています。また今年度から支払いの有無を確認出来る様に、会員の名札の裏面に徴収印を捺印するようにしました。しかしまだ徹底されていないので再度お願いをします。会場にお出でになったら、会員 BOX から名札(胸札)と資料を取ってから、費用の支払いをお願いします。支払い時に胸札から名札を取り出して頂けると大変好都合です。

また今年度から顔写真入りの会員名簿を作りましたが、あわただしい中で作成しましたので、顔写真あるいは記載内容の変更をして欲しい等の要望、或は会員からの集金方法に関するご意見・ご要望があれば会員委員会へお寄せ下さい。

② 新規会員の勧誘に関しては、残念ながらまだ候補者がありません。皆様に再度会員の候補者の推薦をお願いいたします。

会員委員会としての活動は昨年度行った市民活動協議会主催の「お父さんお帰りなさいパーティー(オートバ)」というシニア団体向けの「地域の活動博覧会」に今年度も参加する積りでございました。しかし、昨年行われた南大沢地区では本年度から実施しないことになり、来年 2 月又は 3 月に労政会館で実施されるとのこと。そしてこのイベントの案内は 12 月頃になる予定とのことでした。

また市民活動協議会に関する調査をした中に、「NPO フェスティバル」という博覧会が 9 月 7 日に行われ、様子を見に行きましたが、イベントや売店が主体のお祭りで、会員の募集には不向きでした。

このほか第6回高齢者活動展示会「いきいき活動展」が10月18日から25日まで、八王子南口総合事務所多目的スペースで開かれます。この展示会への参加申し込みは既に締め切られていますので、今年の展示会の状況を見て、参加する価値があるか否かを判断する予定です。

(4) 研修委員会

山口委員長

① 次回例会は「沼津方面散策」の野外研修例会です。11月14日(木) 集合時間は7時45分(8時に出発を予定)、集合場所はJR八王子駅南口(みずほ銀行前)。

② 12月例会の卓話は趣を変え、在住外国人にお願いすべく人選中です。

(5) 地域奉仕委員会

武田委員長

第24回生涯学習サロン企画概要について報告します。(具体的なカリキュラム・日程等は11月にご案内します。)

① カリキュラムの講師

・開講式特別講話

講師 シスター・リュドミナ氏(村上多美代氏)

・サロン講師

会員の話し手 立川富美代会員、池田ときえ会員、土井俊玄会員、チーム福祉(根本洋子会員・根本照代会員・齊藤万理子会員)、有田進治会員、河合和郎会員、深谷正徳会員、阿部治子会員。

外部講師 倉持隆雄氏、青羽美代子氏、塚本回子氏、西澤幹夫氏、日本銀行金融広報アドバイザー。

② 野外サロンの見学場所

・日本オリンピックミュージアム

・鈴木演芸場(上野)

(6) 「宇宙の学校」

下山PJリーダー

宇宙の学校は9月29日に行いました。10月に入って6日に八王子学園で行いました。大勢のプロバス会員の出席を頂き、子供達さらにボランティアや父兄の方々も心強いと言われることが多いです。今後、登録していなくても出席を希望される方は、下山、高取あるいは下田まで申し出てください。



(空気の重さを確かめる実験)

8. その他

いちょう祭りについて

岡本宝蔵

① 今年も11月16日(土)～17日(日)の2日間、いちょう祭りD会場本部(御陵参道南浅川橋手前・陵南公園分園)において、受付・案内等の活動を行います。すでに各委員会から12名の参加者のお名前を頂いています。よろしくお願いします。

② これも例年のことですが、いちょう祭りの通行手形購入のお願いです。今日の例会受付でもすでに販売しましたが、11月の移動例会のバスの中でも販売します。ご協力をお願いします。なお、いちょう祭りの会場の案内図はバスの中で配布します。皆様のご来場をお待ちします。

9 プロバス賛歌斉唱

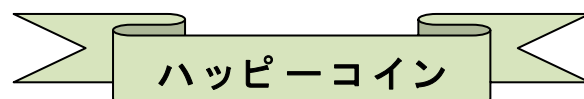
10. 閉会

田中副会長



偶々昨夜発表の「吉野彰さんのノーベル賞受賞決定」が大きなニュースでしたが、ご本人インタビューの中に、少年時代に「ローソクの科学」に啓発されたとの話がありました。正に我が「八王子宇宙の学校」もこのような火付け役になればと云う願いがあり、相通ずるものがあると思った次第です。

今年の例会も回を重ね、コーヒーサービス、ダミ声と話そう、席のランダム配置、会場での懐かしのミュージック等新しい試みもそれなりの効果が見られるようになってきたように思います。来月は移動例会です。皆さんどうぞ元気でお集まりください。



◆吉野彰さんノーベル賞及び日本ラグビー3連勝
日本万歳!!

野口 浩平

◆過日、有泉さんと副幹事の事務引継ぎをしました。以前より大分顔色がよくなっていて一安心です。皆様によりよくお伝え下さいとのことでした。

一瀬 明

◆今年も日本から吉野さんノーベル化学賞。まことにめでたい。企業の研究開発が評価されて非常に

うれしい。田中さんにも祝意を!! 一瀬 明

◆吉野彰様 ノーベル化学賞受賞おめでとうございます。 大野 幸二

◆世界文化遺産「紀伊山地の霊場（吉野、熊野、高野山）と表参道」の一部である熊野三山（本宮、速玉、那智各大社）参拝に行きました。

各大社は来世の加護、前世の救済、現世の利益をはかるとの事です。その御利益に期待して。

寺田 昌章

◆先日、野外サロン下見の帰りの電車で、妙齢の西洋婦人が私に席を譲ってくれました。私は同伴の宮城さんにその席を譲りました。私達が下車する時、その婦人が私の耳もとで「男らしい!」と日本語でささやいたのです。何ともいい気分、今でもその余韻が残っています。

岩島 寛

◆今月 72 才になります。諸先輩には中々追いつけません。が今後ともよろしくお願ひします。

山口 三郎

◆お盆の墓参りからの帰途、圏央道出口、高尾トンネル内で気持ちよく走っていたら 27 キロオーバーで捕まりました。減点 3 です。オーアンハッピー!

山口 三郎

◆祝!! 吉野博士のノーベル化学賞! 民間企業での業績とは。まさに快挙なり!!

馬場 征彦

◆4 年前に体調を崩し自粛していた海外旅行へ 3 年半ぶりに行ってきました。体調にも問題はなく楽しめ、ハッピー、ハッピー。

馬場 征彦

◆吉野さんノーベル賞万歳。「談話で子供の心に好奇心を育むべし」があった。「宇宙の学校」のコンセプトそのもの、我が意を得たり。万々歳

下山 邦夫

◆旭化成名誉フェロー吉野彰さんのノーベル化学賞受賞、おめでとうございます。民間企業の純粋な研究者としてのノーベル賞受賞は 17 年前の田中耕一さん以来でしょうか。昨夜の記者会見での、吉野さんのあの無邪気な表情に魅せられたのは私だけでは無かったです。久しぶりにノーベル賞を身近に感じました。吉野さんの研究を支え・育て続けた旭化成さんも素晴らしい。

ご出身の田中信昭さん、会社の誇りですね。おめでとうございます。

山野 稔

◆ノーベル賞おめでとうございます。浅川 文夫

◆八王子いちよう祭り祭典委員会の岡本です。毎年いちよう祭りには皆様方に変御協力と御支援賜り誠に有難う御座います。今年は節目の第 40 回を迎え 11/16~17 の 2 日間開催する事に成り、昨年に引き続き D 会場本部での受付、ご案内等の係をお願い致したく、お手伝いいただける方は、各所属委員長迄お申し出下さい。

また、いちよう祭り通行手形 1 枚 500 円で 10 月度の例会前に受付で販売しておりますので、是非御協力御支援をお願い致します。

岡本 宝蔵

◆ノーベル化学賞吉野彰氏受賞、心よりお祝ひ申し上げます。田中副会長へもお祝ひを!!ハッピー

飯田富美子

◆2019 年のノーベル化学賞はリチウムイオン電池を開発した旭化成の吉野彰名誉フェローが受賞。敬意を表してハッピーコインを。

荻島 靖久

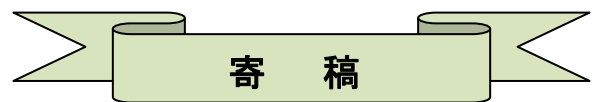
◆東京オリンピックに向けて各スポーツが日の丸を掲げている金メダル期待しています。杉田 信夫

◆昨日元気に 88 才、プロビアン 25 年、支えて下さった皆様に感謝。Viva 人生! Viva プロバス!

立川富美代

◆旭化成名誉フェローの吉野彰さんのノーベル賞が決定、極身近な存在だっただけに我が事のように興奮しました。インタビューの笑顔が素敵でしたね。

田中 信昭



私の過去とこれから

根本 照代

<55 年間の病院での仕事>



今思えば楽しかった。やり甲斐のある仕事だったとつくづく思います。

昭和 38 年看護婦となり日赤医療センターへ、47 年都立府中病院、以後八王子小児病院、神経病院と都立病院の中で異動しながら定年まで勤めました。その後、八王子市内の生協の病院に約 5 年勤め、殆どの『科』を経験することができました。夜勤もありました。3 交代で、月 8 回前後の夜勤を 30 年は続けました。

つらかったこと、そりやあります。何より、小さ

な子どもをおいて仕事に出るとき。でも職場に行き、白衣を着たら子どものことは、忘れました。子どもは子育ての専門家に任せてあるのだからと。

今、子供たちは立派な(?)大人になりまして、寂しい時がなかった訳ではないけれど、家事その他何でも苦労なくできるようになりました。感謝していると私を慰めてくれました。

私は、医療の進歩の中で大いに学び、成長することができたのです。

＜デイサービスの仕事をして＞

65歳で病院の仕事を離れ、夫が開設したデイサービスを手伝っています。もうフルタイムではないけれど、通所者のお歳に近くなり話題も身近になりました。私は相変わらず「元気」そのもの。通所者は心身どこかの不調で通って来ています。年齢は80代90代の方が多いです。皆、それぞれ表情が違います。長い人生の背景が違いますから。若い時はお元気で、社会の荒波を乗り越え、楽しいことも苦しいこともいっぱいあったでしょう。そんな沢山の経験を今、楽しく思い出すことができるのでしょうか？

楽しく思い出して欲しいです。

いつも明るい顔をしている人がいます。

いつも元気な言葉をかけてくれる人がいます。

他人を楽しませようとポケットに手品の小物を潜ませてる人。

周りのちょっとしたことに心踊らせ、詩にする人。
なかには、元気がない人がいます。

でも、今日も楽しかったと言って帰って欲しい!!
そんな気持ちで介護しております。

＜認知症が身近になった＞

認知症にならないために勉強し、努力もしました。でも、認知症になりました。本当に身近な人が……。自分が大丈夫でも、こんな現実があるんだと思い知らされました。

あんなに元気で仕事をし、趣味もいろいろ、活動的だった人が……。物忘れが多くなった。怒りっぽくなった。あんなに静かな優しい人だったのに。今まで見たこともない怖い顔して。ものを投げたりする。「どうしよう」家族2人だけの中で。こんな毎日が続いたら疲れてしまう……。

新聞報道によると2025年団塊の世代が75歳に達する頃、認知症の患者数は700万人前後に達し、65

歳以上の高齢者の約5人に1人、軽度認知症を加えると4人に1人と伝えられています。

認知症の予防策・対策はいろいろ本や新聞などに紹介されています。病院もあります。完全に治すことはできないにしても進行を遅らせたり、怒りやその他の症状などに関しては薬により対応できるようです。

医療は進歩しています。困った症状・状況をありのままに適切に医療者に伝えれば対応策を取ってもらえます。独り、家族だけで悩まないようにしましょう。

＜私のこれから＞（自分の周囲から地域に）

80年近い人生、自分もいつ、人様のお世話になるかわからない。でも元気なうちは、今まで学んできた知識をもとに相談相手など手助けできるのではないかと思います。

プロバスの6月例会で、桜美林大学芳賀教授の「高齢社会における社会参加と健康づくり」の講義にあったように、隣近所とその周辺の地域での交流の中で病気の予防も、助け合いも出来るのではないかと思います。

プロバスの中で「健康寿命をいかに伸ばすか」「医療機関にどのようにかかるか」「地域での医療・介護の連携の仕組み」「遺産相続の課題への取り組み」その他多くのことを学ぶことができました。

これからの人生、まだまだ楽しみたいことがいっぱいあります。あまり欲張らず、楽しんで生きて行きたいと思っています。

旅の面白さ！ 恐さ！ 塚本 吉紀



この夏、子どもの赴任先であるメキシコを訪問した。私自身インドネシアやイギリスに赴任し、その後、仕事の関係で40ヶ国以上の外国訪問をした経験があるがメキシコは初めてなのである。

メキシコはアステカ文明の遺跡をはじめ、世界遺産が34ヶ所もある。古代都市のテオティワカン、メトロポリタン大聖堂、神殿跡地のソカロやテンプロ・マヨール等々である。

歴史あるメキシコだが、国民の生活はと見ると、信号で止まった自動車の前で一芸を披露してお金を

もらう子ども、車窓を拭きに来る子、路上の物乞いの姿、貧富の差が伺える国でもある。そのためか市内には観光客が自衛を厳しくしなければならないところもある。

メキシコシティはいたるところで車の渋滞、標高2千メートル以上の高地、酸素が少なく、排気ガスの量が多く、観光客の目・鼻・喉を刺激、体調が何やらおかしくなる。教育面での遅れもありお金の計算も電卓が重要のようである。労賃がまだ安く、少しでも高額なところを求めての転職が多く、雇用の安定を図ることが会社経営の重要案件と子どもは話していた。

我が子が住むところは、メキシコシティから飛行



(写真 サンルイシポトシの街)

機で約1時間離れた標高は高いが、空気はきれいな地方都市(写真)ではあった。今回も訪問国を観光したり、生活状況、国力、経済力等々を見たり感じたりしながら日々を過ごしたが、海外の旅の中で今でも思い出す“びっくり”したことを紹介したい。

仕事でオランダのアムステルダムからドイツのデュセルドルフに移動する国際列車を利用した時のことである。日本で用意した乗車券を持ち、行き先(ドイツのケルン)、列車番号を確認し、治安と安全を考え一等車にした。

列車は順調に走り国境を越えドイツに入るや大きな駅に停車、突然ドイツ語での車内放送、乗客は右往左往し降りていく人が多い。近くの人に英語でどうしたのかと問うが手を横に振られ、だめと言うしぐさ。私は大きなスーツケースを持ち、あわてて下車、そのとき多くの人が乗車をしてくる。駅員に

尋ねると、「この列車はケルンにつくのが定刻に着かず遅くなるので戻る」との返事。下車1分後、列車はもと来た方向に新しい乗客と降りなかった乗客を乗せ戻って行った。

“落ち着け”と自分に言い聞かせ、駅員に「私はデュセルドルフに行きたいのだが電車はあるのか」と聞くと「何番線の電車はデュセルドルフに行くよ」と返ってくる。わたしは即座に「そこに連れて行ってくれ」と依頼、案内をしてもらう。すぐに列車は出発、不安な自分、止まる駅をトーマスクックで貰った時刻表で駅名を見ながら、20分が過ぎたころ〇〇デュセルドルフと言う駅に止まった。心が落ち着いた。これでデュセルドルフに行かれると安堵した。

列車は1時間以上遅れて着いた。国際列車と同じホームについたのかと不安な気持ちで下車する。辺りを見回すが私を迎えにきているはずの駐在社員の姿はない。隣のホームを見ると日本人らしい若い人がきょろきょろしている。急に私の名前を呼んだ、会えたのである。

団体での海外観光旅行では添乗員が同行する。一人旅は不安・注意・確認の連続である。列車が戻るなど想像もできない日本、これが旅の怖さであり面白さである。こんな旅の面白さ、怖さをいくつも味わった過去を思い出し、一つ紹介をしました。

熊 野 詣

寺田 昌章



熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社)は距離を隔てて位置しており、「熊野古道(熊野参詣道)」によって、お互いに結ばれています。平成16年には「紀伊山地の霊場と参詣道」として

「世界遺産(文化遺産)」に登録されました。この世界遺産は和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場(吉野・大峯、熊野三山、高野山)と参詣道(熊野参詣道、大峯奥駈道、高野山町石道)が登録対象です。

熊野信仰は元々熊野川、那智の滝、「ゴトビキ岩」の自然を神とする自然信仰に、神話に出てくる祖先神信仰が加わり、更に熊野は修験道の聖地なので修験道を介して密教(仏教)が一体となって神仏習合信仰(菩薩や仏が仮に神の姿をとり、神は権現と呼

ばれる) となり、更に仏・菩薩が支配する浄土世界にあこがれる浄土信仰が加わったので、日本人の信仰の原点となる信仰が全て揃っているのです昔から人気があります。

1. 熊野速玉大社は新宮市にあり、主祭神は熊野速玉



大神＝イザナギの尊で、本地仏が薬師如来で前世の救済をし、浄土は薬師如来の住む東方浄瑠璃浄土。神社境内は5棟の社にそれぞれ祭神が祀られており、境内には樹齢1,000年の榊(なぎ)のご神木(千切れない丈夫な葉を持つ＝男女の縁が切れないのでお守りに使われる)があります。

2. 熊野本宮大社は田辺市本宮にあり、158段の階段



を上ると5棟の社があり、それぞれに祭神が祀られています。主祭神は、家津美御子大神＝スサノオノ尊で、本地仏が阿弥陀如来で来世の加護を頂く事ができ、浄土は阿弥陀如来の住む極楽浄土。全国3,000社ある熊野神社の総本宮。近くに斎原(おおゆのはら＝三神が降臨した地で、熊野三山の起源)はパワースポットで日本一大きな鳥居があります。

3. 熊野那智大社は那智勝浦にあり、主祭神は、熊野



夫須美大神＝イザナミの尊で、本地仏が千手観音で現世の利益をはかり、観音様の住む補陀洛浄土になります。467段におよぶ石段を上ると本殿。隣にある青岸渡寺(インドの僧が那智の滝で修行して草庵を作った)の裏からは、那智の滝と五重塔がよく見えます。

熊野全体の守り神として有名なのが八咫鳥(やたがらす、3本足のカラス)(那智大社写真中央右黒い柱の上に乗っている)で、日本神話において神武天皇を熊野の国から大和国への道案内をしました。

4. 熊野古道＝大門坂から那智大社に向かう苔むした石段と杉木立はいかにも熊野古道の雰囲気満点。

俳句同好会便り

私の一句〈十月の句会から〉

河合 和郎

朗報。下山邦夫会員が今月から俳句同好会に参加。早速に句会の雰囲気を楽しんだ。台風19号が大きな傷跡を残した。暑さ、寒さ、そして台風禍と落ち着かない秋も終わり、今年も残りわずかに。

一つ拾ひ二つこぼるる木の実かな 飯田富美子

人生訓を含んだ一句。「人生は欲張っても結果的に失うものの方が多い」と。俳句は奥が深い。

本年も山を越えたと法師蟬 馬場 征彦

夏の盛りを超えてホッとした季節の変わり目。法師蟬が教えてくれる。森羅万象皆俳句の境地。

野分去りブルーシートの屋根数多 野口 浩平

台風15号の残した傷跡の深さ。それを象徴するのがブルーシートの屋根。近づく寒さに心が痛む。

魂祭父母より老いし我ありて 東山 榮

父母の齢を超えて魂祭を主催する作者。健康長寿を授けてくれた感謝の気持ちが込められた一句。

甲斐の山下りし里の走り蕎麦 矢島 一雄

山里の蕎麦処に「新蕎麦」の幟が揺れている。登山を無事に終えての安堵感が伝わってくる一句。

面痩せをわずかに見せて後の雛 池田ときえ

重陽の節句に雛を飾って健康長寿を祈る。その雛の顔にふっと過る季節の翳りを作者は見逃さない。

離陸待つ異国の月の滑走路 田中 信昭

海外旅行のある日ある時、意外なものが心に残るもの。機窓から見たあの異国の月が忘れられない。

秋暁や思わず背伸び一二三 下山 邦夫

元気なメンバーが句会に参加された。払暁の太陽に向かって体を動かす。これからの活躍に期待を。

もみぢ散る水面に鯉の影過る 河合 和郎

水の兼題句。餌と間違えて鯉がずっと寄って来る。そしてずっと通り過ぎる。長閑な秋の昼下り。

編集後記：台風19号で罹災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

即位礼正殿の儀、ノーベル化学賞受賞、ラグビーW杯の快挙と共に心を震わす月でした。

11月は野外研修・素敵で楽しい一日を過ごしましょう。 八木 啓充